

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	伊予市 38210
地域名 (地域内農業集落名)	南山崎 (鵜崎、両沢、本谷、下寺、長崎谷、東野、中台、馬場) (武領・大南・四ツ松・大地蔵・石原・平岡・曾根・梶畑・片山・下片山)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	214.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	129.4 ha
② 田の面積	55.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	159.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

今後規模拡大を検討している中心経営体の引き受け面積よりも、後継者未定の農業者の耕作面積の方が多いため、農地及び基幹作物の産地形成維持のためには、新たな就農者の確保が必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・果樹を基幹作物として産地の維持拡大を図る。
・地域外から農業を担う者を募るために、柑橘や果樹の施設を継承する仕組みを地域全体で構築する。
・共同利用している農業用設備(農道・水路)について、老朽化が進行し補修が必要となっているが、受益者・資金力が不足しているため、日本型直接支払制度が活用できないか検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地区内農業者の後継者育成を最優先で支援する。それでも利用者が見つからない優良園地を活用し、地区外からの新規参入者受入れを促進することにより対応していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	24.7	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地情報(売買・貸借)を一元管理できる仕組みが構築できるよう努力する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員と農地利用最適化推進委員と調整し、農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員と農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
予定なし
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・新規参入者の受け入れについて、後継者のいない農業者への聞き取り調査を実施し、優良園地（施設果樹成木園等）の今後の利用方針について情報収集を行う。その調査にて得られた情報を活用し、JA新規就農研修センターや市役所、県などに情報提供し新規参入者を募集する。合わせて空き家や、空き倉庫の情報も収集しておく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
ヘリやドローンによる農薬散布により農作業の省力化を目指す。 高齢により剪定作業が困難になったキウイ農家を支援する委託組織を作る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①防護柵の整備や荒廃農地を農地や緩衝帯として再生することにより、鳥獣害被害を軽減させる。
- ③施設栽培において環境制御システムを導入し、収量の増加と品質の向上を図る。
- ③ドローン防除を作業委託することで作業の効率化を図る。
- ⑤愛媛県のオリジナル品種の拡大により儲かる農業を推進する。
- ⑦耕作が困難になった農地は、植林による管理を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
到達	A	果樹	1.7 ha	ha	果樹	1.7 ha	ha	A	
認農	B	野菜・果樹	0.2 ha	ha	野菜・果樹	0.2 ha	ha	B	
認農	C	果樹	2.9 ha	ha	果樹	2.9 ha	ha	C	
認農	D	果樹	3.8 ha	ha	果樹	3.8 ha	ha	D	
認農	E	果樹	1.6 ha	ha	果樹	1.6 ha	ha	E	
認農	F	果樹・水稻	4.3 ha	ha	果樹・水稻	4.3 ha	ha	F	
認就	G	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha	G	
利用者	H	果樹	0.1 ha	ha	野菜・果樹	0.1 ha	ha	H	
利用者	I	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	I	
利用者	J	果樹	0.1 ha	ha	野菜・果樹	0.1 ha	ha	J	
計	10経営体		14.8 ha	0 ha		14.8 ha</			

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	JA全農えひめ	ヘリ農薬散布	水稻
2	リクルート	人材派遣	全品目
3	未定	ドローン農薬散布	水稻・果樹
4	未定	剪定作業	キウイ

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。